

大津市大腸がん検診 令和4年度の実績報告

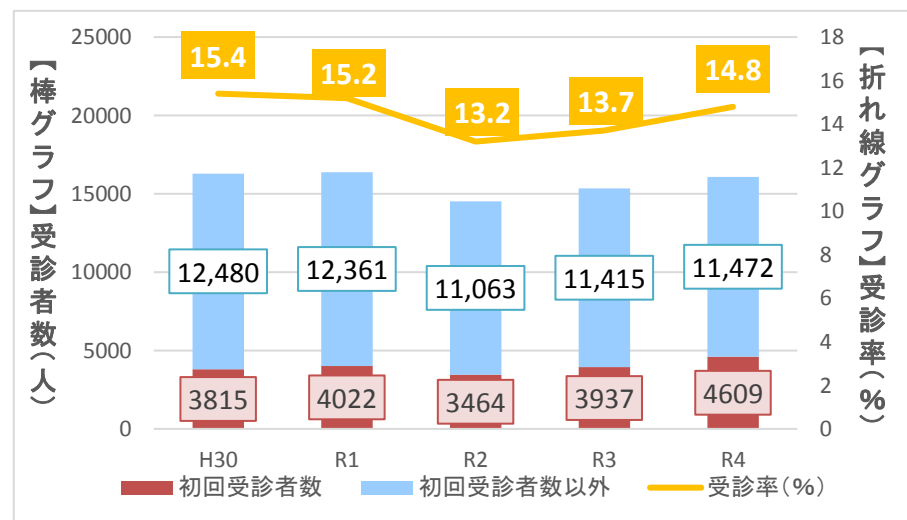
1. 受診状況の推移

R6.1.15現在

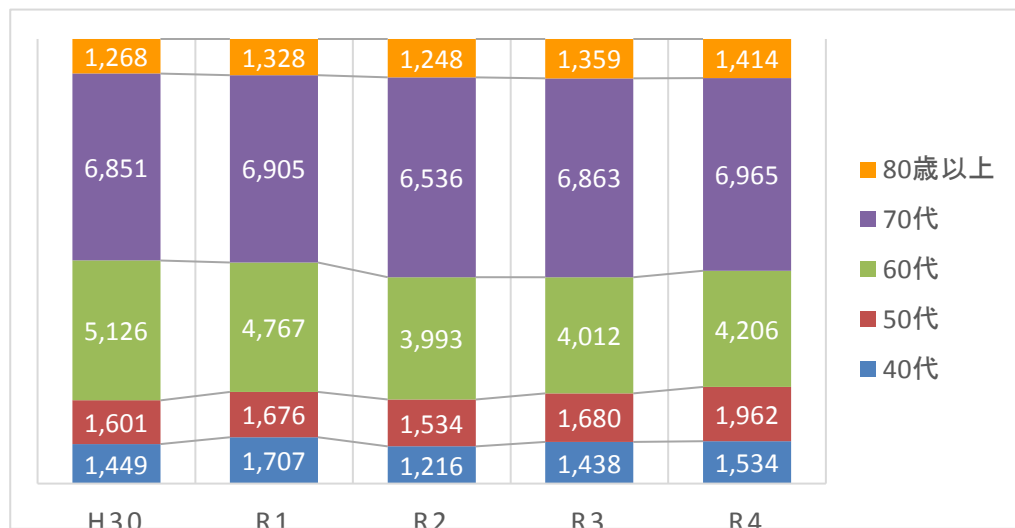
	H30	R1	R2	R3	R4	許容値
対象者数	106,115	108,101	110,035	111,709	108,883	
受診者数	16,295	16,383	14,527	15,352	16,081	
(再掲)初回受診者数	3,815	4,022	3,464	3,937	4,609	
受診率(%)	15.4	15.2	13.2	13.7	14.8	
要精検者数	872	989	907	814	815	
要精検率(%)	5.4	6.0	6.2	5.3	5.1	7.0以下
精検受診者数	746	870	823	727	758	70.0以上 (目標値)
精検受診率(%)	85.6	88.0	90.7	89.3	93.0	90.0以上
がん発見者数	32	35	29	32	51	
がん発見率(%)	0.20	0.21	0.20	0.21	0.32	0.13以上
陽性反応的中度(%)	3.7	3.5	3.2	3.9	6.3	1.9以上

※初回受診者数には4年以上前に受診歴がある人を含む。

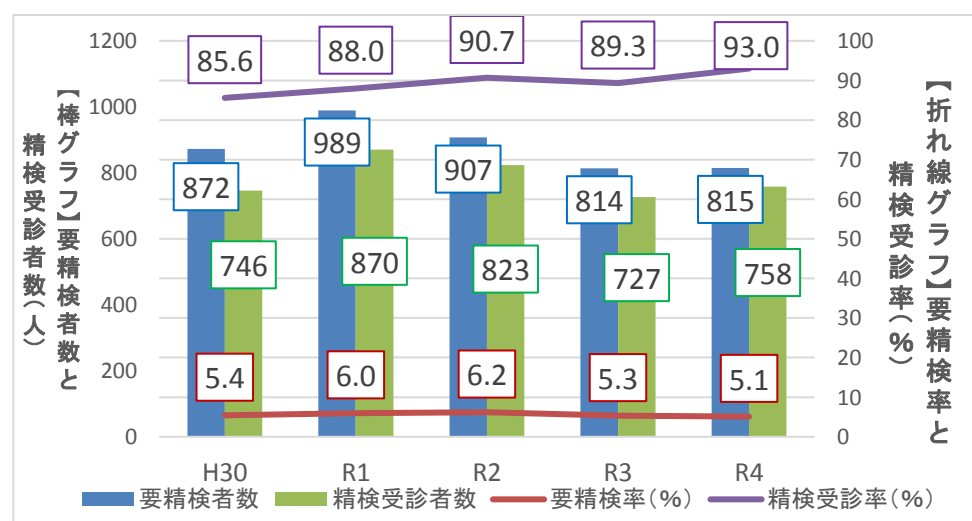
<受診者数と受診率の推移>



<年代別受診者割合の推移> ※グラフ内の数字は受診者数(人)



<要精検者数(率)・精検受診者数(率)の推移>



1. 受診状況の推移について

- ・受診者数、受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度から回復傾向である。また、初回(4年以上前に受診歴がある人を含む)割合が増加している。
- ・年代別受診者数については、50歳代の受診者数が増加した。増加した要因としては、年度年齢50、54歳に胃がん、肺がんとセットの受診券を送付したこと、肝炎ウイルス検診無料クーポン券対象者(年度年齢51、56歳の津市肝炎ウイルス検診未受診者)に大腸がん検診の受診券を同封して送付したことが考えられる。
- ・精検受診率は目標値90%を上回り、がん発見率も増加した。

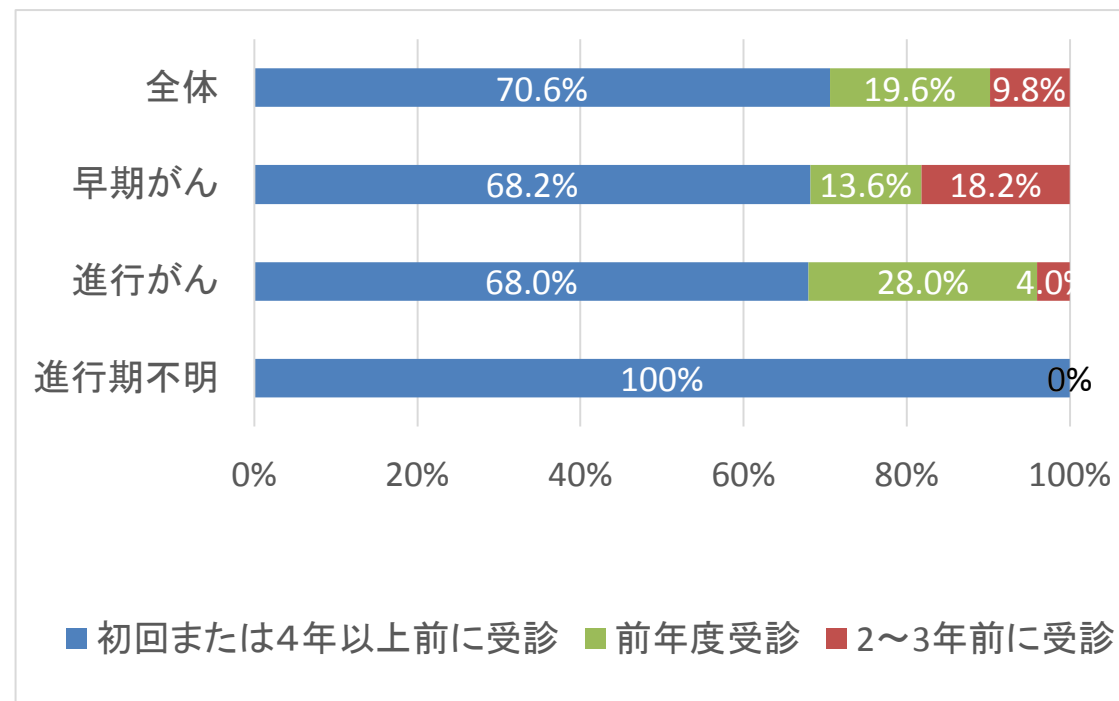
2 令和4年度 年代別受診者の状況 (速報値)

R6.1.15現在

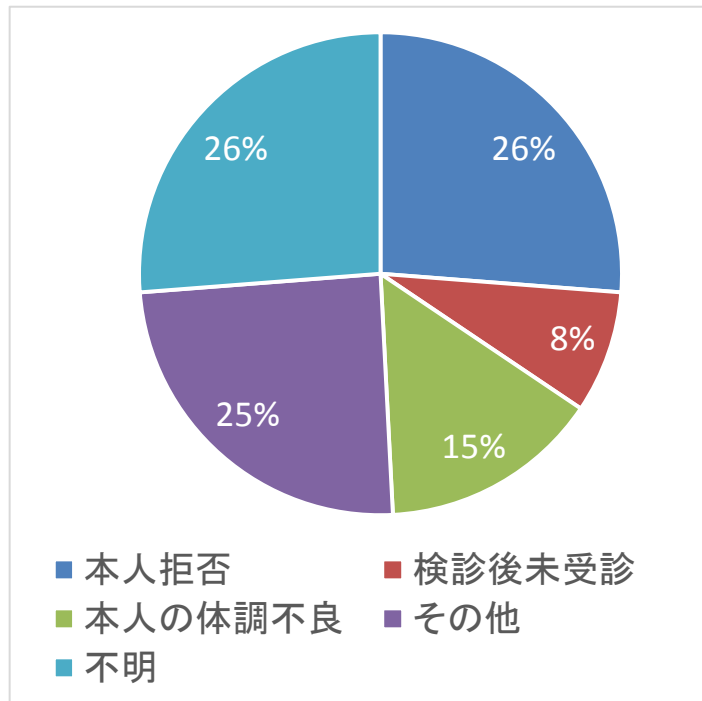
(参考)

	全年代			40~69歳			40歳代			50歳代			60歳代			70歳代			80歳以上			80歳代			90歳代			滋賀県	許容値	
	総計	男	女	総計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女			
受診者数(人)	16,081	5,912	10,169	7,702	2,416	5,286	1,534	471	1,063	1,962	594	1,368	4,206	1,351	2,855	6,965	2,875	4,090	1,414	621	793	1,293	585	758	66	36	35	55,976		
要精検者数(人)	815	357	458	317	117	200	73	18	55	74	29	45	170	70	100	400	192	208	111	48	50	105	45	47	6	3	3	3,010		
要精検率	5.1%	6.0%	4.5%	4.1%	4.8%	3.8%	4.8%	3.8%	5.2%	3.8%	4.9%	3.3%	4.0%	5.2%	3.5%	5.7%	6.7%	5.1%	7.9%	7.7%	6.3%	8.1%	7.7%	6.2%	9.1%	8.3%	8.6%	5.4%	7%以下	
精検受診者数(人)	760	326	434	287	101	186	66	18	48	66	26	40	155	57	98	384	182	202	89	43	46	85	41	44	4	2	2			
精検受診率	93.3%	91.3%	94.8%	90.5%	86.3%	93.0%	90.4%	100.0%	87.3%	89.2%	89.7%	88.9%	91.2%	81.4%	98.0%	96.0%	94.8%	97.1%	80.2%	89.6%	92.0%	81.0%	91.1%	93.6%	66.7%	66.7%	66.7%	84.7%	70.0以上	
精検結果(人)	大腸がん(早期がん)	22	10	12	5	3	2	0	0	0	1	1	0	4	2	2	13	6	7	4	1	3	4	1	3	0	0	0		
	大腸がん(進行がん)	25	13	12	9	5	4	0	0	0	5	2	3	4	3	1	12	5	7	4	3	1	4	3	1	0	0	0		
	大腸がん(進行期不明)	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	2	2	0	2	0	0	0		
	ポリープ(腺種性)	384	192	192	114	49	65	20	9	11	23	8	15	71	32	39	222	118	104	48	25	23	46	24	22	2	1	1		
	ポリープ(過形成性)	50	23	27	25	9	16	5	1	4	3	2	1	17	6	11	21	12	9	4	2	2	4	2	2	0	0	0		
	ポリープ(その他)	11	6	5	6	3	3	1	1	0	2	1	1	3	1	2	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	潰瘍性大腸炎	3	1	2	2	0	2	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	炎症性腸疾患	2	2	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	憩室	42	14	28	16	3	13	3	0	3	5	1	4	8	2	6	20	9	11	6	2	4	5	2	3	1	0	1		
	痔核	54	13	41	33	7	26	9	0	9	8	3	5	16	4	12	17	4	13	4	2	2	4	2	2	0	0	0		
	その他	33	10	23	10	3	7	3	0	3	3	1	2	4	2	2	18	4	14	5	3	2	4	2	2	1	1	0		
	異常なし	130	41	89	65	17	48	22	5	17	15	7	8	28	5	23	53	19	34	12	5	7	12	5	7	0	0	0		
	がん発見者数	51	24	27	14	8	6	0	0	0	6	3	3	8	5	3	27	12	15	10	4	6	10	4	6	0	0	0	133	
がん発見率	0.32%	0.41%	0.27%	0.18%	0.33%	0.11%	0.00%	0.00%	0.00%	0.31%	0.51%	0.22%	0.19%	0.37%	0.11%	0.39%	0.42%	0.37%	0.71%	0.64%	0.76%	0.77%	0.68%	0.79%	0.00%	0.00%	0.00%	0.24%	0.13以上	
陽性反応的中度	6.26%	6.72%	5.90%	4.42%	6.84%	3.00%	0.00%	0.00%	0.00%	8.11%	10.34%	6.67%	4.71%	7.14%	3.00%	6.75%	6.25%	7.21%	9.01%	8.33%	12.00%	9.52%	8.89%	12.77%	0.00%	0.00%	0.00%	4.4%	1.9以上	

3 がん発見者の大津市大腸がん検診受診状況 (n=51)

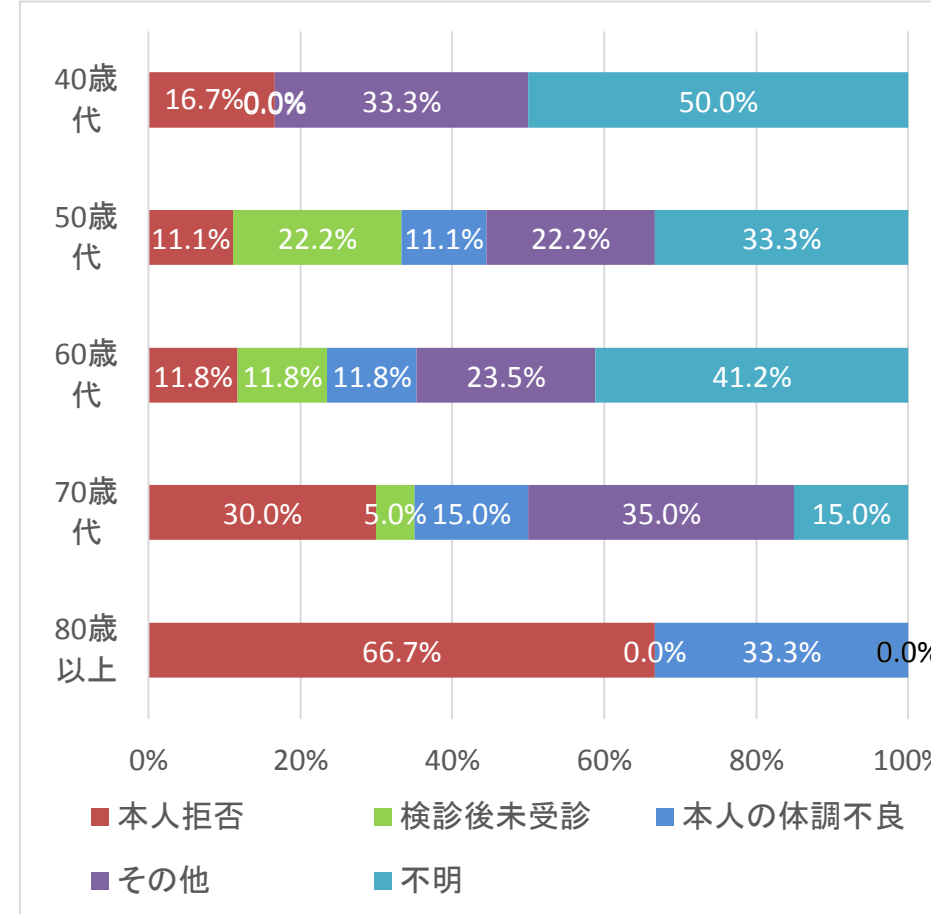


4 精検未受診の理由 (n=61)



その他の主な理由
 ・人間ドックを受けるまたは受けた(2人)
 ・前年度に大腸内視鏡実施した(2人)
 ・便潜血再検(2人)

(年齢別内訳)



2. 年代別受診者の状況について
 ・40歳代でのがんは0人で、80歳以上のがん発見率が高い。

3. がん発見者の大津市大腸がん検診受診状況について
 ・全体の7割以上が初回または4年以上受診がない人であった。毎年継続して受診することが大切であるため、引き続き啓発していく必要がある。

4. 精検未受診者の理由について
 ・本人拒否は引き続き多いが、不明の割合も高かった。精検未受診者への受診勧奨は実施したが、さらなる状況の把握に努めるとともに未受診者を減らすアプローチが必要である。また、その他の中には前年度大腸内視鏡検査をされた方が複数おられたため、大腸内視鏡検査をされた後の検診の受け方についての周知が必要である。
 ・80歳以上の精検受診率が低く、その理由は本人の拒否や体調不良である。
 ・高齢の要精検者が他院より紹介で来られた際、大腸内視鏡の検査は適応外となる場合があり、さらに他院紹介となるケースがあるの医療機関からの意見があった。